

## 宮崎県内報道機関向け現地見学及び意見交換会を開催

県内報道機関に対し、スマート農業のリアルな現場を体感してもらうことにより、報道機関からの情報発信と国民の農業への理解醸成に結びつける。

### ○施策分類

その他（その他）

### ○きっかけ・背景、課題の把握

- ・ 県拠点の広報活動を強化するためには、報道機関との「顔の見える関係」を構築し、タイムリーな情報提供を行うことが重要。
- ・ 9回目の開催となる本年度は、県内でも広がりを見せているスマート農業のリアルな現場を体感してもらうことにより、魅力的な報道につながると考え、現地見学を企画。

### ○取組の内容

- ・ 現地見学では、西都市で先進的にデータを活用した環境制御技術により、ピーマンの収量増加・品質向上に取り組む生産者から説明。また、意見交換会では、データ分析を行うIT企業（宮崎市）も加わって説明。
- ・ その後、県拠点からスマート農業をめぐる事情や県内の取組等を紹介し、意見交換を実施（令和8年2月10日）。

### ○効果・成果、今後の方向性

- ・ 意見交換会は、新聞6社（記者7名）が参加。各報道機関より、人材確保・新規就農、気候変動等に対する質問など多くの意見が出された。
- ・ 開催後のアンケートでは高い評価を得られ、3月4日付日本農業新聞に掲載。他社においても、(株)イニーファームの取組を記事化予定。
- ・ 今後も報道機関との良好な関係を構築し、報道機関を通じたプッシュ型の情報発信を行う。



現地見学の様子(ハウス外)



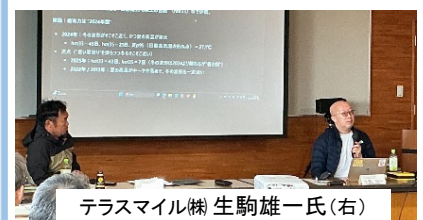
現地見学の様子(ハウス内)



(株)イニーファーム 橋口仁一氏



意見交換会の様子



テラスマイル(株) 生駒雄一氏(右)



「データと仲間で切り拓く、ピーマン経営の新常識」

環境制御と育成でつなぐ次世代ピーマン農業

- ・ “儲かる農業”を実現する技術と経営手法
- ・ データと仲間を支える、再現性あるスマート農業の現場

(株)イニーファーム 説明資料(表紙)

体制図

宮崎県拠点  
地方参事官室

連携



生産者  
IT企業  
振興局  
普及センター  
(意見交換会場)  
西都市

宮崎県内報道機関